

さいたま市公民館運営審議会第3回会議 議事録

1 開催日時

平成30年3月20日（火） 午前9時30分から10時00分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 7階 講座室1・2

3 出席者名

〈委員：14名〉

- ① 佐伯 加寿美 委員長
- ② 山中 冴子 副委員長
- ③ 石田 玲子 委員
- ④ 碓井 麻由美 委員
- ⑤ 加藤 正晴 委員
- ⑥ 金今 義則 委員
- ⑦ 久保木 央 委員
- ⑧ 島田 正次 委員
- ⑨ 長谷部 美紀代 委員
- ⑩ 堀杉 幸子 委員
- ⑪ 中澤 輝夫 委員
- ⑫ 山崎 栄慈 委員
- ⑬ 山崎 秀雄 委員
- ⑭ 山田 玲子 委員

〈拠点公民館職員：9名〉

- | | |
|----------------|-------|
| ① 西区 指扇公民館長 | 佐藤 芳正 |
| ② 北区 大砂土公民館長 | 山本 修一 |
| ③ 大宮区 桜木公民館 | 黒須 雄児 |
| ④ 見沼区 大砂土東公民館長 | 吉田 勉 |
| ⑤ 中央区 鈴谷公民館長 | 佐藤 賢一 |
| ⑥ 浦和区 岸町公民館長 | 大嶋 真浪 |
| ⑦ 緑区 大古里公民館長 | 藤光 若人 |
| ⑧ 桜区 田島公民館長 | 押田 龍彦 |
| ⑨ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 宮崎 通夫 |

〈事務局：6名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 戸張 豊一
- ② 副理事 野崎 隆史
- ③ 参事兼副館長 佐藤 軸治
- ④ 主幹兼管理係長 釜 浩美
- ⑤ 事業・企画係長 荻原 唯史
- ⑥ 事業・企画係主任 榎 進吾

4 欠席者名

〈委員：1名〉

- ① 小池 茂子 委員

〈拠点公民館：1名〉

- ① 南区 文蔵公民館長 星野 務

5 議題

- (1) 平成30年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の事業計画について

6 配布資料

- (1) 本日の会議次第
- (2) さいたま市公民館運営審議会第3回会議名簿
- (3) さいたま市公民館運営審議会第3回会議席次表
- (4) さいたま市公民館運営審議会第2回会議議事録（案）
- (5) 平成30年度さいたま市公民館事業計画概要（資料1）

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

審議冒頭前回（さいたま市公民館運営審議会第3回会議）の議事録について、事務局より説明した。

承認を経て議事に入った。

佐伯委員長	議題に入る前に、前回の議事録にもありますとおり、第2回会議において確認事項等がありました。それにつきまして、事務局より説明をお願いいたします。
荻原事業・企画係長	事務局より、前回の会議で質問をいただいた事項について、説明させていただきたいと思います。前回、中澤委員より、優良公民館表彰について、さいたま市も対象になっているのか、という質問をいただき、事務局が確認したところ、さいたま市を含め、政令指定都市は優良公民館の表彰の対象となっております。優良公民館表彰については、毎年文部科学省が選考を行っておりますが、まず各市町村の教育委員会から、埼玉県の教育委員会に優良公民館として推薦いたします。その後、埼玉県の教育委員会のなかで3館を、文部科学省に推薦します。その後、文部科学省の審査委員会で選考が行われ、最終的には表彰されるという仕組みとなっておりますので、平成30年度募集の際に、今年度の事業の中でさいたま市公民館の中でPRできるようなものがあれば、まずは埼玉県に推薦していきたいと思っております。以上です。
佐伯委員長	ありがとうございます。中澤委員、良い御質問を本当にありがとうございました。門戸が開かれた感じがします。事務局にお聞きしたいのですが、日程的にはいつまでに最初の推薦を出すような流れになっているのですか。
荻原事業・企画係長	埼玉県への推薦が10月初旬になりますので、それまでの期間で、拠点公民館を通じ、PRできる事業の選定をしていきたいと思っております。
佐伯委員長	わかりました、是非とも選ばれることを祈っております。それでは、議題1に入りたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。

- (1) 平成30年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の事業計画について、事務局より説明した。

佐伯委員長	ありがとうございます。この後の予定もありますので、本日は時間があまりありませんので、詳細については次回にしようと思うのですが、大まかな項目、ぜひここは聞いておきたい、もしくは来月、次回までに仕上げたいところがありましたら、出していただきたいと思っております。
山中委員	すみません。次回にお答えいただければと思いますが、ぱっと拝見して気になるところだけ。私の専門が障害者関係ということで拝見しているのですが、障害のある方の生涯学習の推進ということで、各区公民館の事業をそれぞれ取り出しているのですが、区によりまして、人権・同和問題の理解を図る講座と重複しているところはいくつかあるのです

	けれど、住み分けがどうなっているかというところを次回教えていただければありがたいと思います。細かな質問は他にもあるのですが、大きなところはその辺りです。障害のある方とかと人権以外でもたぶん差があるかもしれないのですが、その辺りをどのようにやっているのか、よろしくをお願いします。
佐伯委員長	他はいかがでしょうか。
中澤委員	見当はずれかも知れないのですが、事業計画を出されておられますが、費用対効果という面から、公民館全体の予算措置とかそういうことについては我々には知る由はないのですか。
佐伯委員長	事務局、いかがでしょうか。
荻原事業・企画係長	予算措置等につきましては、次回会議にて説明させていただきます。
中澤委員	あと一点、事業計画等拝見させていただいて、公民館の分布について、私の雑駁な意見ですけれども、公民館の配置計画にアンバランスな点があると思います。例えば、人口に比べて公民館数が非常に少ないとか、最近人口が急に増えているのにそこにほとんどないとか、要するに配置計画についての全体的な計画の見直しも考えられるのかという問題について。それから公民館そのものが、もしかしたらコミュニティセンターが補完しているような形で運営されているのかどうか、予算措置の関係で。もし、差し支えなければ教えてください。
佐伯委員長	事務局が今お分りの時点で、何かお答えできることがあれば。
佐藤副館長	今の時点で、後半の部分についてお答えさせていただきたいと思いますが、公民館については、合併する前の旧市から配置されておりまして、その公共施設をどうしていこうかという市全体の計画がございます。公共施設マネジメント計画と申しまして、公共施設が一時期大量に造られ、それらのメンテナンスをしていかなければならないのですが、今後人口が減っていく中でそれをどう維持していくのかということについて、さいたま市全体の計画がございます。その中で公民館につきましては、原則として一自治会連合会に一つというしぼりがございます。あとは、老朽化した公民館が建替の段階で面積を削減することはあるのですが、所管として公民館は少ないなかで、色々作りたいという思いはあるのですが、市全体の方針があり、現在のところは今申しあげましたしぼりがございますので、その枠のなかで進めていかなければならないというところなんです。前半部分の予算につきましては次回提示させていただきたいと思います。
中澤委員	ありがとうございます。
佐伯委員長	他にいかがでしょうか。山崎委員、よろしいでしょうか。流れをずっとご存知かと。
山崎委員	公共施設マネジメント計画って、実は現役時代、私たちが責任者として作ったところなので。今もお話がありましたけれど、昭和50年代かな、

	<p>小学校が一気に造られた時期があつて、それがちょうど60年の耐用年数でいくと、一気に校舎を建て直さなければならないということが懸案になっていまして、それを試算してその他の公共施設も全て、造ったり整備した年月日を全部計算し、それが今後どのくらいの建替費、メンテナンスがかかるかということをやっていくと、将来的に今補修等にかかるお金をそのまま使ったとしても、一年間単純にですけれど、約160億だったかな、そのくらい毎年足りなくなるという試算が生まれて、もうこのまま新しい施設を造っていくと、いずれは古い施設は使えなくなる。公民館は、たまたま浦和はたくさんの方針でつくってきました。大宮はコミュニティセンターをつくったせいもありまして、非常に公民館数が少ない。そういうことがあつてそれを一緒にしようとする、多くするしかないわけですね。それをやっていくと、とてもじゃないけれど、我々の世代は良いですけども、我々の子ども、孫の世代が全部その維持費を負担するわけですね。それがあつたので、今のうちにきちっとした制限をしましょうということで作ったのが、公共施設マネジメント計画で、計画ができあがるまでに立ち上がった設置計画については認めましょうということで、内野公民館と尾間木公民館はもう計画ができて始まっていたから、そこまでは公共マネジメントのルールから外してやりましょう。今後の公民館については、老朽化が進んでいる学校もたくさんあります。そういう学校の建て替えの時に近くの公民館を併設、公民館だけじゃないのですけれど、近くの公共施設を学校の建て直しと合わせて一緒にしていって、ランニングコストも設備費も落としていく。そういうことをしていかないと、将来的に子ども、孫の世代にその負担がかかってしまうということで作ったものですが、やはり地域の政治家さんたちは、今の状況でいいわけがないだろうということで、今度見直しを再開されますね。5年たって、わたしも不本意なのですが、ちょっと甘くなるかもしれませんが、公民館から見るともしかすると、少し少ないところに造るといふ話や地域が出てくるという可能性は出てきたのかもしれませんが、公共施設マネジメント計画というのはそういうことで作りしましたので、大変批判をいただきましたけれど、常に子どもや孫のために作りましたということを書いてきましたので、是非ご理解をいただきたいところです。</p>
<p>佐伯委員長</p>	<p>新たなハードは造らないということですね。では、このあとの予定がありますのでここまでとさせていただきます、続きや細かいところ、それから今日出た質問につきましては次回にさせていただきますと思います。他に皆さんからありますでしょうか。大丈夫でしょうか。では、この後公民館職員の意見交換会を開催する10階多目的ホールに移り、私は進行役として入ります。特色ある公民館について考えるということですが、いきなり特色を出そうとするのではなく、公民館にどんな資源があるかということをもう一度見直してもらおうということをお今日のゴールにしようかなと思</p>

	<p>っています。あと、委員の皆さま方も、直接公民館職員がどんなことを考えていて、今どんなことを困っているのかなという、生の声をお聞きしたいのではないかと思いますので、グループを作ったあとに、各グループにお一人ずつ入っていただきたいなというふうに思っています。その際には、委員の皆さんには、見守り隊という立場でお願いしたいです。職員さんがいろいろ意見交換している中で、そうだね、なるほどね、という感じで聞いていただき、本当は意見を言いたいこともあるかと思いますが、そこで言ってしまうと、職員が委縮して言えなくなってしまう場合もありますので、今日はいろいろな職員の意見を、あ、こんなこと実は困っているんだ、とか、こんなことあるのね、ということ私たちとしても今後の答申に反映させていきたいと思っておりますので、ご意見は次回の会議にていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。では、事務局からなにかありますでしょうか。</p>
荻原事業・企画係長	<p>ただ今委員長よりお話がありましたように、本日は10階の多目的ホールで、公民館職員の意見交換会を開催します。会議が終わりましたら、会場の方へ御案内いたしますので、お時間の許す限り、意見交換会にオブザーバーとして御参加いただきますよう、お願いします。以上です。</p>
佐伯委員長	<p>それでは、本日の議事はすべて終了いたしました。皆さま、進行に御協力いただきましてどうもありがとうございます。感謝申し上げます。では、事務局に進行をお返しいたします。</p>

次回は、5月22日（火）午前10時00分より生涯学習総合センター7階講座室1・2にて開催することを確認した。

1 1 閉会